

令和4年度

亀岡市立病院 新中期計画 評価報告書

令和5年7月

亀岡市立病院経営審議会

1 はじめに

亀岡市立病院経営審議会(以下、「審議会」という。)は、亀岡市立病院(以下「市立病院」という。)における医療の質の向上と健全な経営を図ることを目的として、医療関係者、学識経験者、行政関係者、自治会関係者からなる外部委員で構成された審議会である。

本報告書は、「亀岡市立病院新中期計画(2021年4月～2024年3月までの3ヶ年計画)」2年目(令和4年度)の評価である。

2 新改革プランに対する点検及び評価結果

(1) 審議会としての具体的な評価方法

「亀岡市立病院新中期計画」の進捗状況報告(令和5年6月27日(火)令和5年度第1回亀岡市立病院経営審議会)に示された実績、自己評価等について病院から項目毎の説明を受け、その内容を審議した。評価は、下記の基準で求め、特に委員から提言された意見を付した。

【評価基準】 評価は、「A、A(-)、B、B(-)、C」の5段階とし、その内容は以下の通りとする。

- A: プラン目標を概ね達成できている。
- B: プラン目標に対して概ね達成したが、項目によっては取り組み内容の再検討が必要である。
- C: プラン目標に対して、多くの項目が目標を達成することが出来ず、大幅な取り組み内容の修正や方向性の検討が必要である。

(2) 審議会評価【総評】

令和4年度は長期化する新型コロナウイルス感染症の影響により多くの医療機関で入院患者数の減少、病床稼働率の低下が見られる中、市立病院も同様に入院患者の減少や病床稼働率の低下が見られ目標を下回る実績となっている。入院患者の診療科割合では内科系患者数に課題がある。また、逆紹介率、救急搬送応需率、市民健康講座の開催等も目標を下回っている状況である。

一方で、外来患者数は前年に比べ増加し、初診患者数の増加、救急搬送患者数の増加、救急・時間外受入件数の増加が見られる。

経営面では、感染拡大防止に努めながら計画的に整形外科手術を進め、新規入院患者の受入れ、質の高い医療を提供することで入院診療単価は上昇し、目標より高く維持できている。最終的には京都府から多額のコロナ補助金があったものの、収支は5年連続の黒字を達成している状況である。

今後、更なる地域医療連携の推進に努め、地域医療構想の実現に向けて市立病院の役割や機能分担を明確にすることで、紹介・逆紹介の適正化に努めると共に、救急応需、病床の有効利用・稼働率の改善に向けた取組を望むところである。

以上のことから審議会総評として以下のとおり判断した。

A(-)

【意見等】

新中期計画の進捗状況を見ると、計画の進捗状況は良いので、総合的に見れば高く評価できる。次のような改善点があるためA(-)とした。中期計画の基本的な考えの一つとして「地域医療機関と連携し、…」とある。紹介率と逆紹介率が前年に比べて減少していると同時に、新中期計画の目標値を下回っており、この基本的な考えを満たすためには一層の連携が必要と思われる。市民健康講座は令和4年度には一度も行われていない。対面にこだわらずリモートによる方法なども含め実施に向けて検討すべきと思われる。救急搬送患者数は前年度に比べ増大し、目標値を上回っている点は評価できる。しかし、応需率は目標値を下まわっており、改善すべきものと考えられる。病院事業収支において、コロナ関連補助金と本来の病院業務の貢献が明らかにされていないため、新中期計画の評価を十分に行なえない状況にないため、今後はそれぞれの貢献を明らかにすべきものと思われる。

地域密着型の病院として、市民に評価される病院になれば良いと思います。厚生省のビジョンでは無いかもしれませんが。

令和4年度の亀岡市立病院における新中期計画に対する評価についてA(-)評価とする。新型コロナウイルス感染症が落ち着きを示し、外来患者数、初診患者数、手術件数、救急搬送患者数、その他の幾つかの項目で前年を上回った。一方で、救急応需率、時間外受入件数、その他は減少したままであり、今後の対応が必要と考えられる。また入院患者数については整形外科、外科は回復傾向をおもわせ、更に入院単価も素晴らしい増加をしているが、一方で内科系入院患者数については回復が遅れており、この領域での取り組み内容の再検討を要すると考えられる。また、地域包括病床の運用のやり方の工夫を必要とする。

市内唯一の公立病院としてコロナ患者の入院受入、発熱外来、PCR検査等の実施、市民へのワクチン接種などのコロナ対応について、安全安心の市民生活に大きく寄与したものと考えます。

新中期計画との比較においては、外来関係では患者数、初診患者数、一人当たりの診療単価、救急搬送患者数も目標値をクリア出来ましたが、今後は、市民満足度向上の観点から、救急搬送応需率のアップが必要と考えます。

入院関係では患者数については、一定数の病床をコロナ病床に割いたため、目標値をクリア出来なかったことは、やむを得ないものと考えます。しかし、全手術件数はコロナ禍の中でも、目標値を上回る件数をこなし、また、入院単価においても高度な脊椎手術の実施により、目標値を大幅に上回る入院単価を確保したことが入院収益のアップにつながったものと考えます。

最終的に多額のコロナ関連の府補助金の交付があったものの、5年連続で黒字を確保出来たことは、高く評価出来るものと考えます。以上の点から、各項目とも概ね進捗状況は良好であることから、新中期計画に対する評価については、A(-)とします。

なお、今後コロナ病床を解除後、どれだけ病床利用率を上げられるかが課題と考えます。

コロナ禍により様々な影響を受け、外来患者の減少やコロナ対応のための病床確保などの課題を乗り越えて、現段階ではコロナ禍前の利用患者数に戻りつつあり、収益についても回復しつつある。

今回の会議で貴院の収支状況を伺うと、5年連続で黒字を続けているなど、大変良好な成績であった。亀岡市からの補助金、および新型コロナウイルス病床に関連する補助金を受けているとはいえ、素晴らしいことと評価できる。特に整形外科の頑張りは素晴らしく、病院全体をけん引している様子である。貴院が私立の病院であれば、間違いなくA評価と思う。

一方で病院の自己評価では、救急搬送応需率、救急・時間外受入件数、逆紹介率、入院患者の転倒・転落発生率、小児科の外来患者数、内科系の入院患者数などが、目標値を下回っていた。医師数が少なく、当直医師の専門外の患者は断らざるを得ないなどの事情は理解できる。それでも市立病院である以上、どうしても市民の期待は高いと思われる。このような、少し残念な面も加えて評価すると、A(-)との評価とせざるを得ないと考えられる。

令和4年度はまだCOVID-19の影響を強く受け、多くの医療機関で入院患者数や稼働率の低下が見られた。亀岡市立病院がコロナ下で、新入院患者数が増加したことは特筆すべきことであり、延入院患者数や稼働率の低下がみられたが、比較的わずかにとどまった。また、救急車搬入患者数や外来受診患者数は増加し、地域への貢献は一定果たしているものと考えられる。

現状は、整形外科部門が急性期医療を充実させていることが収益に貢献し、病院全体をけん引しており、黒字化戦略としては妥当と考えられるが、管理者からも訴えられているように、100床という病床数で急性期病床・地域包括ケア病床・回復期病床をどの割合で効率よく運用するかは難しい事項である。また、京都中部総合医療センターとの連携・役割分担についての踏み込んだ地域の話合いなどが必要と考えられる。また、京都市内に20分以内に搬送可能な環境も十分に考慮されるべきものである。ただ、これらの課題は1病院だけでは解決が困難であり、地域医療構想調整会議などで議論・協議が必要と考えられる。

今回は審議会に参加できず、全体の財務状況などを十分に把握できていませんので、確信をもって意見ができませんが、主要な評価項目を計画と比較した場合、もう少し改善すべき点があろうかと考え、上記(A-)のような評価としました。

令和5年7月31日

亀岡市立病院経営審議会

会長 伏木 信次



【附属資料】

亀岡市立病院経営審議会委員名簿

(敬称略・順不同)

氏名	役職	備考
伊多波 良雄	同志社大学創造研究センター 嘱託研究員	
吉村 了勇	伏見桃山総合病院 病院長	副会長
温井 雅紀	亀岡市医師会 会長	
伏木 信次	京都中部総合医療センター 総長 京都府立医科大学名誉教授	会長
新井 英植	公認会計士	
時田 和彦	京都府南丹保健所 所長	
佐々木 京子	亀岡市 副市長	
竹内 光雄	亀岡市自治会連合会 副会長	
若園 吉裕	京都桂病院 院長 京都大学臨床教授	
佐藤 裕見子	明治国際医療大学 看護部看護学科 教授	

審議会等開催状況(令和4年度～令和5年度)

開催	日時	内容
病院内説明会⇒供覧 (全職員対象)	令和4年4月27日(水)	・新中期計画令和3年度(1年目)実績を供覧形式で報告
令和4年度診療・部門別 ヒアリング調査 (全医師、部門長対象)	令和4年5月24日(火)～ 5月27日(金)	・今年度における取組事項等について意見交換
令和4年度第1回 亀岡市立病院経営審議会	令和4年6月28日(火) 午後2時00分～4時00分	・新中期計画令和3年度(1年目)の進捗状況について ・公立病院経営強化の推進について ・その他
病院内説明会⇒供覧 (全職員対象)	令和4年11月15日(火)	・新中期計画令和4年度(2年目)上半期実績報告 ・令和3年度病院事業会計報告 ・経営比較分析(令和2年度決算)
令和4年度第2回 亀岡市立病院経営審議会	令和4年12月27日(火) 午後2時00分～4時00分	・新中期計画令和4年度(2年目)上半期の進捗状況について ・南丹地域医療構想調整会議、公立病院経営強化プラン策定状況について ・電子処方箋の運用について ・その他
病院内説明会⇒供覧 (全職員対象)	令和5年5月11日(木)	・新中期計画令和4年度(2年目)実績を供覧形式で報告
令和5年度診療・部門別 ヒアリング調査 (全医師、部門長対象)	令和5年5月18日(木)～ 5月26日(金)	・今年度における取組事項等について意見交換